

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 18 日作成)

小委員会名	建築計画の学術体系小委員会		主 査 名：門内輝行 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月～2007 年 3 月(他の小委員会とは、1 年設置期間がずれている。)		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1. 質の高い建築を誘導する建築計画の学術体系の構築 2. 研究と実践をリンクする新しいメディアの刊行 3. 建築計画のためのナレッジマネジメントの推進		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	小林秀樹(千葉大学) 在塚礼子(埼玉大学) 上野 淳(首都圏大学東京) 小野田泰明(東北大学) 西出和彦(東京大学) 松村秀一(東京大学) 門内輝行(京都大学) 積田 洋(東京電機大学) 吉村英祐(阪大学) 大野隆造(東京工業大学) 篠崎道彦(芝浦工業大学) 系長浩司(日本大学) 佐藤文昭(T&S コンサルティング) 建築計画を中心に、都市計画・農村計画・環境工学の研究者・実務者が参画している。		
設置 WG (WG 名：目的)			
2005 年度予算	235,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .
講習会	1 .
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .
大会研究集会	1 .
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築計画を設計科学として位置づけ、キーワードを見直す作業に着手。 2. ニュースレターの刊行、HP の創設、フォーラムの開催を検討。 3. 建築計画で蓄積されている知識の共有化の可能性を検討。 2006 年度終わりに新たな建築計画の学術体系とキーワードを提案するために、 2004 年度研究協議会で作成した資料集をもとに基礎作業を推進した。
委員会活動の問題点・課題	1. 新しいメディア・場の創設には相当の労力とコストを要するため、HP 等の電子メディアの活用を図る必要がある。 2 . 3 .

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。